

鎌倉総第2270号

令和7年(2025年)11月12日

鎌倉市議会議長

中澤 克之 様

鎌倉市長 松 尾



文書質問への回答について

標記の件につきまして、別紙のとおり回答します。



事務担当

総務課総務担当 (内線2242・2243)

議会受付番号	文書質問第 16 号
質問者	長嶋 竜弘 議員
答弁する者	市長 (都市整備部道路課)

文書質問に対する答弁書

鎌倉市議会基本条例第 7 条第 3 項の規定に基づく文書質問第 16 号の質問について、次のとおり答弁いたします。

1 質問の内容

江ノ電極楽寺駅横の擁壁が老朽化しており、地震や大雨などの災害時に崩れないかと言う懸念が近隣住民の間で広がっている。

江ノ島電鉄株式会社と鎌倉市はこの件について協議をしていると住民の方から伺ったが、まずどのような協議をしており、どういった状況なのか伺いたい。

そして問題解決のために今後どのような対応策を考えているのか伺う。

2 質問の理由

早期の対応策が必要なので。

3 答弁を求めるもの

市長

4 答弁

江ノ電極楽寺駅横の擁壁（別添案内図のとおり）につきましては、平成 25 年(2013 年)11 月に江ノ島電鉄株式会社（以下「江ノ電」という）が点検を実施したところ、健全性が「早急に措置が必要」との判定となったことから、安全性について協議要請を受けておりました。

当該擁壁につきましては、道路や水路（公共下水）、鉄道用地、民有地の境界が未確定のまま擁壁の整備が行われた状態であるため、境界確定について整理を進めてまいりましたが、確定作業が難航している状況です。

その後、令和 5 年(2023 年)12 月に江ノ電から当該擁壁の安全対策の実施について改めて協議依頼があり、補修工事やその費用負担等の協議を進め、令和 7 年(2025 年)8 月に市が補修工事の費用の半額を負担し江ノ電が工事を実施する「極楽寺駅石積擁壁補強工事の費用に関する協定」を締結いたしました。

当該工事については、既に工事の施工業者も決定しており、令和 8 年(2026 年)1 月ごろに着手する予定で、令和 8 年 3 月末の完成を目指しています。

